

## 第65回仙台矯正管区教誨師研修大会（JKA 競輪補助事業）

### 記

- 1 実施年月日 令和5年10月12日（木）
- 2 実施場所 ホテルメトロポリタン盛岡 盛岡市盛岡駅前通1-4-4
- 3 目的 東北地方の教誨師が一堂に会し、矯正施設における被収容者の宗教による教化方策について研修・討議する。
- 4 参加者 94名  
教誨師52名、矯正施設関係者29名、その他関係者13名
- 5 内容 式典 11:00～11:45  
記念講演 12:00～13:30  
講師 菊池憲光氏  
岩手県警察本部県民課 佐藤義一氏  
演題 犯罪被害者遺族の想い  
研修討議 13:45～15:45  
討議題 心の拠り所としての宗教教誨  
発表者 青森県教誨師会 柿崎信也  
秋田県教誨師会 村岡昇  
山形県教誨師会 池田好斉  
福島県教誨師会 白井真

### 6 研修の成果

令和4年6月に「刑法等の一部を改正する法律」が成立し、拘禁刑の創設、刑の執行猶予制度の拡充、施設内・社会内処遇の一層の充実、個々の特性に応じた処遇の推進など、これまで以上に受刑者の改善更生及び社会復帰に重きが置かれていくことになる。矯正施設においては、受刑者や非行少年の再犯・再非行防止のために様々な教育・指導を展開し、被収容者処遇の充実を図っているが、その対象となる彼らが自己を見つめ直し、自ら改善しようとする意識と前向きな姿勢を持ち合わせてこそ、これらの教育・指導が効果的で実効力のあるものになると考えられる。この基盤となるべき対象者の心の部分に対する働き掛けには、教誨師に大きな期待が寄せられているところである。

このことから本研修会においては、仙台矯正管区教誨師連盟に所属する教誨師と同管内の矯正施設の関係者が一堂に会し、大会テーマ「新しい時代とともに教誨の原点～人間

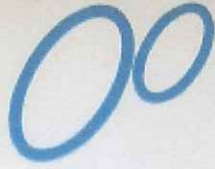
性の回復～を見つめて」の下、討議題「心の拠り所としての宗教教誨」に基づいて、熱心かつ真剣な研究討議がなされた。

また、この制度の下では、令和5年12月1日から被害者等の心情等の聴取・伝達制度が開始され、被害者等から心情等を聴取して受刑者等に伝達することなどを通じ、受刑者等に反省や悔悟の情を深めさせ、被害者等への謝罪や被害弁償がなされるよう働き掛けていくことになる。このことに関しても本研修会においては、平成23年6月に発生した殺人事件で、当時、大学2年の御長女を亡くされた、犯罪被害者遺族を講師に招き、「犯罪被害者遺族の想い」の題での講演を企画した。参加者からは、この悲痛な思いを我々教誨師はどう生かすかを問われている、講師の勇気あるこの度の御講演を心に刻んで教誨を努めてまいりたい、教誨の在り方、思いを改めて考えさせられた貴重な発表であったとの意見が寄せられた。

研修会全体の満足度に関するアンケート結果は、「満足」、「やや満足」を合わせて80%超となっており、コロナ禍後の研修会の在り方を探る目的で、これまで一泊二日で行ってきた日程を一日のみの開催とした試みに関しても肯定的な意見が多数を占めた。

制度改正をはじめとする喫緊の要事、また、これらに期待する社会からの負託に応えるべく、各教誨師の積極的な姿勢が随所に見られる充実した研修会であった。

KEIRIN



# 第六十五回仙台矯正管区

## 教誨師研修岩手大会会場

日時 令和五年十月十二日 木

主催 公益財団法人全国教誨師連盟

仙台矯正管区教誨師連盟

岩手県教誨師会

この研修大会は競輪の補助を受けて開催しています。

1 式辞



2 講演





### 3 研究討議



### 4 閉式会

